

令和5年度緑の講演会

多様な生きものに恵まれた里山 「大原野森林公園」の魅力

令和6年2月23日（金・祝）

京都市環境政策局環境管理課

生物多様性係長

宮田 孝司

本日の次第

- ① 大原野地域の変遷
- ② 大原野地域の特徴
- ③ 大原野森林公園の概要
- ④ 大原野森林公園の魅力
- ⑤ 大原野森林公園の取組

①大原野地域の変遷

●京都市西京区大原野

- 春日町（旧大原野村）
- 灰方町・石作町（旧石作村）
- 小塩町（旧小塩村）
- 上羽町（旧上羽村）
- 石見町・上里町（旧石見上里村）
- 外畑町（旧外畑村）
- 出灰町（旧出灰村）



①大原野地域の変遷

●旧石器時代～

- 旧石器時代の石器や弥生時代の土器が出土
- 勝持寺創建（679年）、大歳神社・金蔵寺創建（718年）

●平安時代～

- 大原野神社・十輪寺創建（850年）、善峯寺創建（1029年）、三鈷寺創建（1074年）
- 藤原氏が大原野神社へ参拝、源氏物語

●江戸時代～ 参勤交代の山陰街道が発展、宿場町として栄える

●明治・大正～

●1889年 新大原野村発足

（大原野村・石作村・小塩村・上羽村・石見上里村・外畑村・出灰村）

●1959(昭和34)年 大原野村が京都市編入（右京区大原野）

●1976(昭和51)年 右京区が分割（西京区大原野）、洛西ニュータウンに入居開始

●1990(平成2)年 ポンポン山周辺にゴルフ場建設の計画

●1997(平成9)年 大原野森林公園（仮称）整備計画

●2000(平成12)年 大原野森林公園が開園

●2013(平成25)年 京都第二外環状道路が開通

①大原野地域の変遷

●850年 大原野神社創建

- 紫式部が大原野神社を氏神と崇める
- 源氏物語二十九帖「行幸」
- 大原野へと向かう冷泉帝の華やかで美しい行列の様子が描かれ、紫式部のこの地への思いの一端を伺い知ることができる
- 家集「紫式部集」
- 「ここにかく 日野の杉むら^{うづ} 埋む雪^{をしほ} 小塩の松に^{けふ} 今日やまがへる」



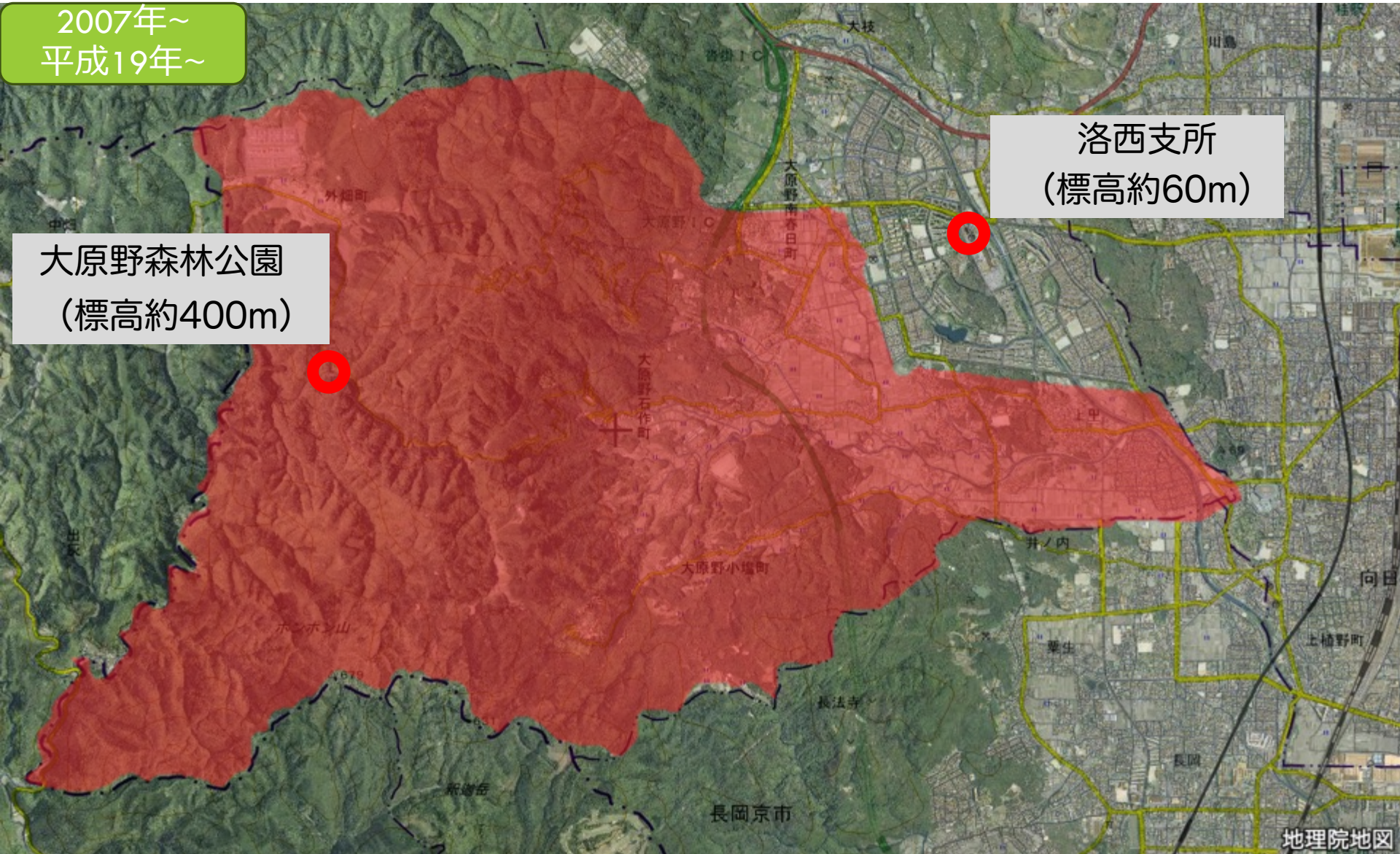
順徳天皇 行幸之図

①大原野地域の変遷

2007年~
平成19年~

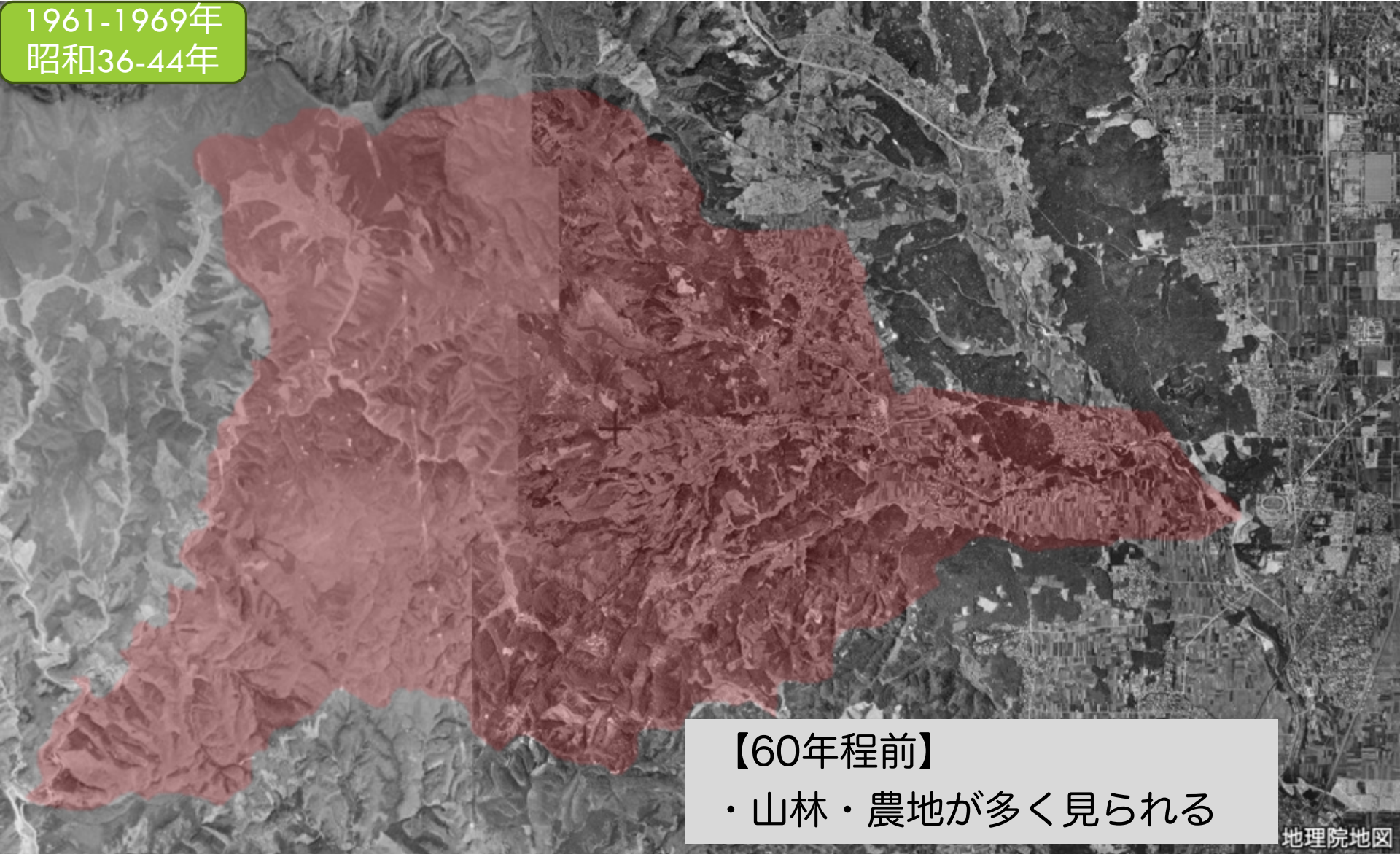
大原野森林公園
(標高約400m)

洛西支所
(標高約60m)



①大原野地域の変遷

1961-1969年
昭和36-44年



【60年程前】

・山林・農地が多く見られる

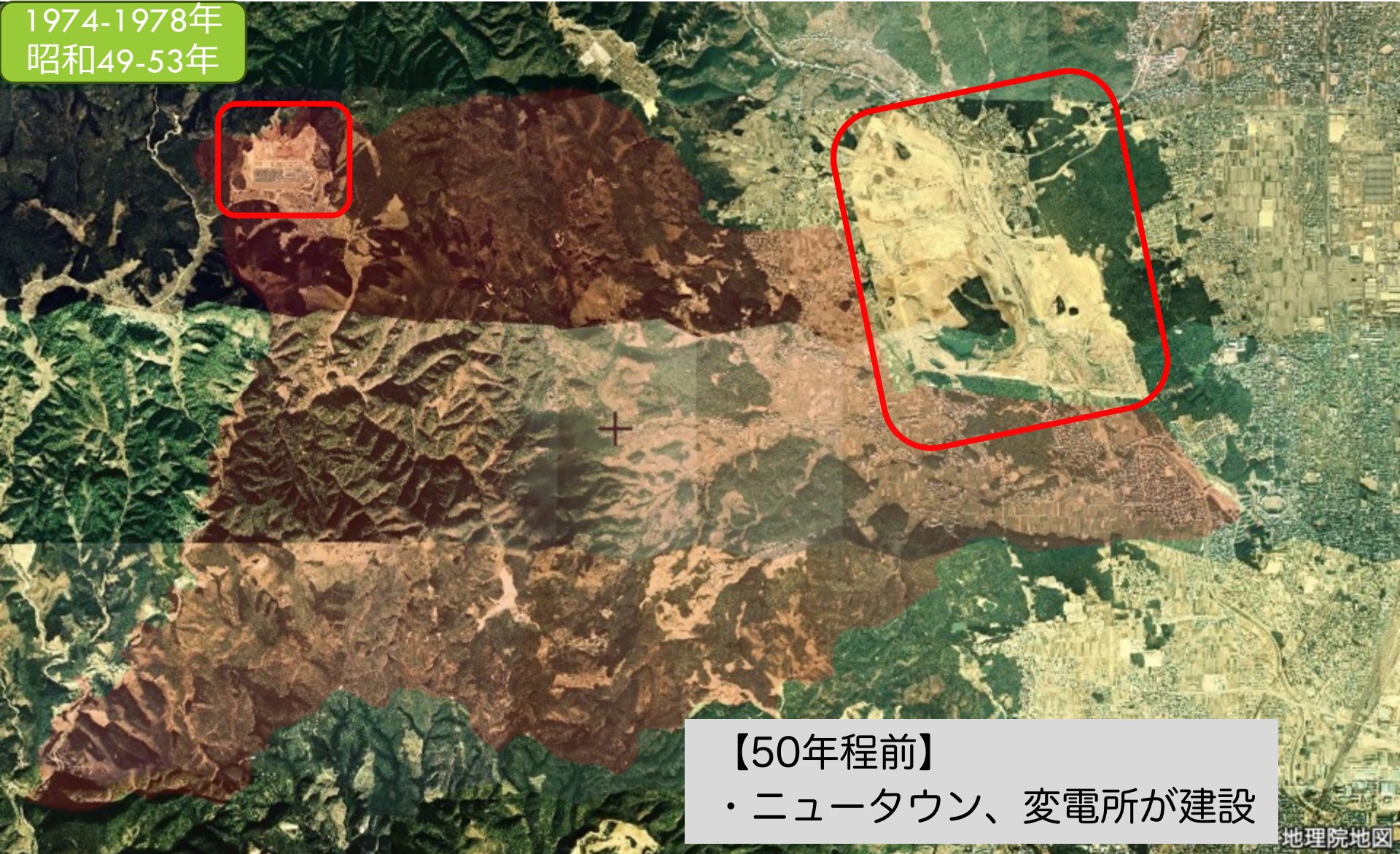
①大原野地域の変遷

- 昭和34年 大原野村が京都市編入（右京区大原野）



①大原野地域の変遷

1974-1978年
昭和49-53年



【50年程前】

・ニュータウン、変電所が建設

①大原野地域の変遷

1979-1983年
昭和54-58年



【40年程前】

・ニュータウンが概ね完成

①大原野地域の変遷

2020年
令和2年



- ・ 京都第二外環状道路が開通
- ・ 山林の形状が変化

①大原野地域の変遷

- 2013(平成25)年 京都第二外環状道路が開通



①大原野地域の変遷

●2018(平成30)年 台風21号



2018(平成30)年10月7日

②大原野地域の特徴

- 林業

- 薪炭

- アカマツ林（薪、炭、建築材、基礎固めや杭などの土木用材、松明、食用キノコ）

物産高比較

品名	明治10年頃	昭和10年
木材	不詳	850石（236m ³ ）
木炭	5,000俵（75t）	41,150貫（154t）
薪	7,700束	818棚
竹材	3,730束	6,165束
松茸	150貫（563kg）	不詳
筍	32,990貫（124t）	315,394貫（1,183t）
米	3,000石（450t）	3,165石（475t）

（以下で換算）

1石=0.278m³（木材）

1俵=15kg（木炭）

1貫=3.75kg

1石=150kg（米）

②大原野地域の特徴

- 農業（筍）
- 京の伝統野菜「京たけのこ」
- 特徴：孟宗竹の筍で、食用としては最も大きいもの。特に西山地域で生産されるものは、間引きから施肥、土入れ、収穫までを通して、篤農家の永年の研究による栽培技術に支えられ、全国的に最も品質が優れていると言われる。

大原野、
味わおう。



②大原野地域の特徴

- 農業（なす）
- 市内最大の産地
- 大原野は古くからナスの産地として知られている。



②大原野地域の特徴

- 京都府「小塩山京都府歴史的な環境保全地域」に指定（昭和62年）

場所	京都市西京区大原野石作町 地内（金蔵寺周辺地域）
指定面積	28.38ha
指定理由	本地域は、京都市西京区大原野にある小塩山（標高642m）の東南斜面中腹に位置し、平安時代、都の平安を祈念して設けられた西の岩倉に当たる金蔵寺とその周辺地域であり、 <u>古くから自然が保持されてきたところである。特に金蔵寺の本堂や仁王門等の歴史的遺産がすぐれた天然林等と一体となって歴史的風土が形成されていることから、保全地域に指定している。</u>
植生の概要	本地域の植生は、本堂の裏山に見られるモミ林と区域の最大面積を占める落葉広葉樹林に区分できる。モミ林は、高木層にモミをはじめウラジロガシやアラカシ、シラカシなどが出現し、変化に富む構成を示している。落葉広葉樹林は、アベマキーコナラ林で、コナラをはじめアベマキ、クリ、ウリカエデなどが出現する典型的な代償植生である。 （主な群落）モミ林、アベマキーコナラ林、竹林など

②大原野地域の特徴

- 環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定（平成27年）

名称	大原野森林公園周辺
選定基準 1	○（多様で優れた二次的自然環境を有する）
2	○（里地里山に特有で多様な野生動植物が生息・生育する）
選定理由	<p>市の西南端にある、ポンポン山から北に広がる里山に位置し、「自然そのものが公園施設」を基本テーマに自然の地形を残し、必要最低限の整備を行った約134haの都市公園法上の都市林である。</p> <p>かつて薪炭林として利用されてたクヌギ・コナラ二次林、尾根上のアカマツ林、斜面地のケヤキ林、沢の源頭部のオニグルミ林など、里山林の多様性が残されていることから、ニホンリスやオオムラサキ、ムラサキシキブなど里地里山に特徴的な動植物がみられる。また、暖温帯と冷温帯の移行帯的位置にあり、植物の多様性がとても高く、明るい林内ではフクジュソウやヤマブキソウなどの群生地も確認されている。</p>
保全活用状況 （取組状況）	<ul style="list-style-type: none">・里山希少種の残る谷一帯では、地元で立ち入り制限や防鹿ネットのパッチディフェンス等を設け、フクジュソウ、ヤマブキソウ群落等の保全に取り組んでいる。・優れた生物的自然の特性を維持しながら、地域振興を図るとともに持続的利用を行う取組を進めている。・学校教育の一環として、地元小学校の体験学習、自然観察会の受入れを行っている。

②大原野地域の特徴

- 京都府の希少な動植物：フジバカマ

府RL2022：絶滅寸前種、環境省：準絶滅危惧（NT）



アサギマダラ



フジバカマ@大原野小塩町

②大原野地域の特徴

- 京都府の希少な動植物：ギフチョウ
府登録天然記念物、府RL2015：絶滅危惧種、
環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）、
府指定希少野生生物（大原野個体群）



ギフチョウ@小塩山



案内板



カタクリ@小塩山

②大原野地域の特徴

- 京都府の希少な動植物：フクジュソウ
府RL2022：絶滅寸前種、府指定希少野生生物



フクジュソウ@大原野森林公園

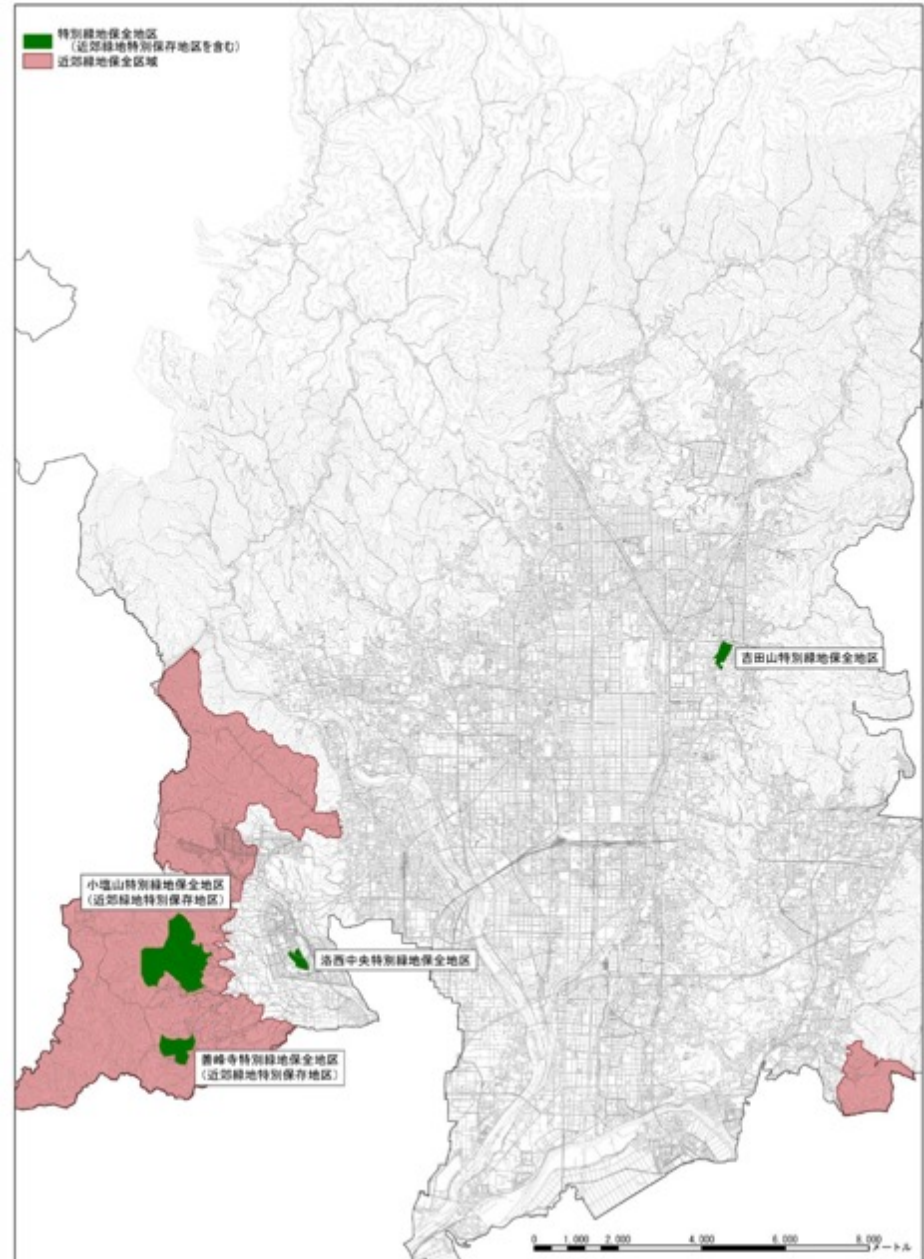
②大原野地域の特徴

●近畿圏の保全区域の整備に関する法律

都市近郊における樹林地のうちで相当規模の面積を有し無秩序な市街化のおそれのある区域を近郊緑地保全区域、その中で特に重要な地域を近郊緑地特別保全地区として指定

●都市緑地法

都市内のまとまった緑地を都市計画手続によって特別緑地保全地区として指定



②大原野地域の特徴

- 地域の伝統行事（田の虫送り）
- 水稻の敵ずい虫の繁殖を防ぐ
- 枯れ竹と稲わらで松明を作り、神社などに集まり、灯明の火を頂き田圃の周囲を回る



③大原野森林公園の概要

- 所在地：京都市西京区大原野石作町1754他
- 面積：133.98ha（京都市最大の都市公園）
- 開園日：平成12年4月27日
- 都市公園法に基づく都市公園（都市林）：
自然的環境の保護、保全、自然的環境の復元を図れるよう十分に
配置し、必要に応じて自然観察、散策等の利用のための施設を配置
- 概要：
本市の西南端にあるポンポン山の北側斜面の里山を、自然を活かし、
人と自然が触れ合える場として開園した公園
- 基本テーマ：
「自然そのものが公園」「自然とともに、市民とともに」
- 基本理念：
「優れた生物的自然の特性を維持しながら、
人と自然が触れ合える場として整備し、
地域振興を図るとともに、持続的利用を行うこと」

③大原野森林公園の概要

●各ルートの概要



③大原野森林公園の概要

●森の案内所

研修室、トイレなどがあり、散策の拠点



③大原野森林公園の概要

- 竈ヶ谷ルート

谷筋に沿って、多様な環境・植生が見られる
エリアごとに針葉樹、広葉樹が入り混じる



③大原野森林公園の概要

●西尾根ルート

アカマツの実生も多く見られる明るい稜線
川の合流地点も



③大原野森林公園の概要

●東尾根ルート

アカマツが林立する稜線
洛西地域が見渡せる場所も



③大原野森林公園の概要

- 京都市生物多様性プラン(2021-2030)

本市域における「生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画（生物多様性基本法第13条に基づく生物多様性地域戦略）」

- 2030年目標①～④

目標②生息・生育地と種の多様性を保全・回復する

- 施策①重点保全地域における保全強化

「深泥池、八丁平、大原野森林公園等を重点保全地域とし、既存法令の活用等により保全対策を強化」



④大原野森林公園の魅力

●多様な生きもの（植物）

- フクジュソウ（府RL2022：絶滅寸前種、府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例：指定希少野生生物）
- ヤマシロネコノメ（府RL2022：絶滅危惧種）
- ミヤマカタバミ
- トウゴクサバノオ（府RL2022：準絶滅危惧種）
- フタリシズカ
- タチツボスミレ
- ヤマブキソウ（府RL2022：絶滅寸前種）
- ヤマシャクヤク（府RL2022：絶滅危惧種、環境省：準絶滅危惧（NT））
- ラショウモンカズラ
- チゴユリ
- キンラン（府RL2022：絶滅危惧種、環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU））
- コケイラン（府RL2022：絶滅危惧種）
- クモキリソウ
- オオキツネノカミソリ（府RL2022：要注目種）
- ツリフネソウ
- オタカラコウ
- アケボノソウ

④大原野森林公園の魅力

●多様な生きもの（植物）



キンラン



ヤマシロネコノメ

④大原野森林公園の魅力

●多様な生きもの（鳥類）

- ウグイス
- ルリビタキ
- オオルリ
- メジロ
- キビタキ
- カケス
- サンコウチョウ（府RL2021：準絶滅危惧種）
- ヤマガラ
- ホオジロ
- ミソサザイ
- ホトトギス
- エナガ
- キセキレイ
- サンショウクイ（府RL2021：準絶滅危惧種、環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU））
- ツツドリ（府RL2021：準絶滅危惧種）
- コゲラ
- アオゲラ
- コマドリ（府RL2021：絶滅危惧種）
- クロツグミ（府RL2021：準絶滅危惧種）

●多様な生きもの（小動物・昆虫・蝶類）

- オナガアゲハ
- ヒメクロサナエ
- ミヤマクワガタ
- ニホンジカ
- ヤマカガシ（府RL2023：要注目種）
- カラスアゲハ
- ミヤマアカネ（府RL2015：準絶滅危惧種）
- スジクワガタ
- ニホンリス
- シュレーゲルアオガエル（府RL2023：要注目種）
- テングチョウ
- ムカシトンボ
- ハルゼミ
- ニホンアナグマ
- カジカガエル（府RL2023：準絶滅危惧種）
- スミナガシ
- アサヒナカワトンボ
- ヒグラシ
- マムシ（府RL2023：要注目種（ニホンマムシ））
- タゴガエル
- アサギマダラ
- ルリモンハナバチ（府RL2015：絶滅危惧種、環境省：情報不足（DD））
- ツクツクボウシ
- シロマダラ（府RL2023：要注目種）
- サワガニ



サワガニ



キセキレイ



爪痕



爪痕と折れた枝

④大原野森林公園の魅力

●多様な生きもの

生物多様性の大変高い地域である

植物(羊歯含む)	863種
昆虫(蜘蛛含む)	2,334種
鳥類	109種
哺乳類	27種
爬虫類	11種
両生類	13種
淡水魚	6種
甲殻類	6種
陸産貝類ほか	23種

2022年までに確認された生物の合計3,392種

(京都大学芦生研究林 4200ha 植物 865種 鳥類111種)

中井猛之進博士「植物ヲ學ブモノハ一度ハ京大ノ芦生演習林ヲ見ルベシ」

④大原野森林公園の魅力

●来園者

- フクジュソウの開花期（2～3月）に約1,500名が来訪
- 野鳥観察、キノコ観察、紅葉など（令和6年は2月3日～3月17日に公開）



⑤大原野森林公園の取組

- これまでの取組
 - 里山維持管理
 - 植林地維持管理



⑤大原野森林公園の取組

- これまでの取組
 - 普及啓発：炭焼き、自然観察会、椎茸栽培



⑤大原野森林公園の取組

- これまでの取組
 - 貴重な植物の調査
 - 防獣ネット・フェンスの設置



詳細はこちら→<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/7.大原野森林公園.pdf>

https://www.nature.or.jp/about/magazine/toshitosizen_2013/201308/02.html

⑤大原野森林公園の取組

●今後の展開

- 貴重な里山を未来につないでいくことが重要（里山の活用、体験の場、技術伝承）

環境省：生物多様性保全上重要な里地里山（抜粋）

里地里山は、長い時間をかけて人々が自然と寄り添いながらつくりあげてきた自然環境。環境省では、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山」を選定。

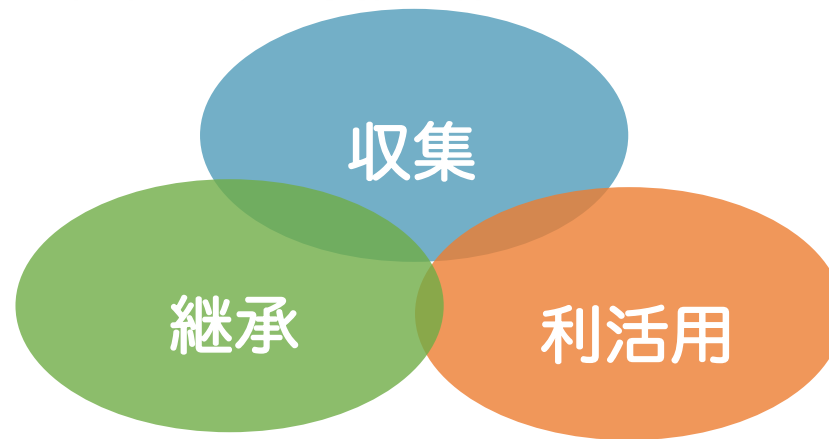
里地里山は、農地、ため池、樹林地、草原など多様な自然環境を有する地域。里地里山は、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観形成、水源かん養や国土保全、身近な自然とのふれあいの場、文化の伝承などの観点からも重要な役割を果たしています。また、さまざまな動植物の生息・生育場所となり、日本列島の自然を豊かにする役割も担ってきました。里地里山の生物多様性がもたらすさまざまな恵みは、国民共有の財産

我が国の里地里山における生物多様性は、地域の自然を活かした農林業等の営みや人々の暮らし、都市住民や企業・学校など多様な主体も巻き込んだ取組などを通じて保たれてきたものであり、こうした地域の主体的な取組が重要な役割を担っています。

⑤大原野森林公園の取組

- 今後の展開：①きょうと生物多様性センターの活用
 - センターの機能

- ① 生息分布などの生物多様性情報の集積・データベース化
- ② 各主体における標本・文献等資料の保有状況の把握



- ③ 多様な主体のネットワーク形成
- ④ 多様な主体との連携による保全活動のコーディネート
- ⑤ 多様な主体の保全活動や事業の際の環境配慮などに関する相談対応
- ⑥ 民間企業等に対する情報提供と専門知識に基づく助言・提案
- ⑦ 民間企業や保全団体等の保全活動や啓発等の支援及び受託
- ⑧ 生物多様性に係る調査・研究
- ⑨ 資料や情報を活用した環境学習、担い手育成及び情報発信

⑤大原野森林公園の取組

- 今後の展開：①きょうと生物多様性センターの活用
 - センターの拠点
- 【本部オフィス】：京都府立植物園会館（本部事務機能、コーディネート機能 等）
- 【交流オフィス】：左京区役所（ネットワーク形成、情報発信機能 等）
 - ※ 交流スペースを設け、月・水・金曜日の午後1時～午後5時に開所
（祝日・休日・年末年始を除く）
- 【情報オフィス】：京都府立大学（生物多様性情報の集積・データベース化機能）



本部オフィス



交流オフィス



情報オフィス

⑤大原野森林公園の取組

- 今後の展開：①きょうと生物多様性センターの活用
- センターによる研修会



生物多様性保全を現場で学ぶ

若手のための 生物多様性保全研修会

若年層を対象に、府内各地域の生物多様性とその保全活動について学習・体験する研修会を実施します。
現場での実践を通して、生物多様性保全について考えてみませんか？

研修費：無料

※集合場所までの
交通費は実費負担

各回定員20名（先着順）

※各回別々のお申し込みとなります



天候不良のため、
2024/3/2(土)に延期
(予備日：3/3(日))

01

~~2023/12/16(土)~~
～森林保全を知る～
大原野森林公園
保全活動

大原野森林公園で希少植物の保全とその環境づくりを学びます。

時間：9:00—16:00

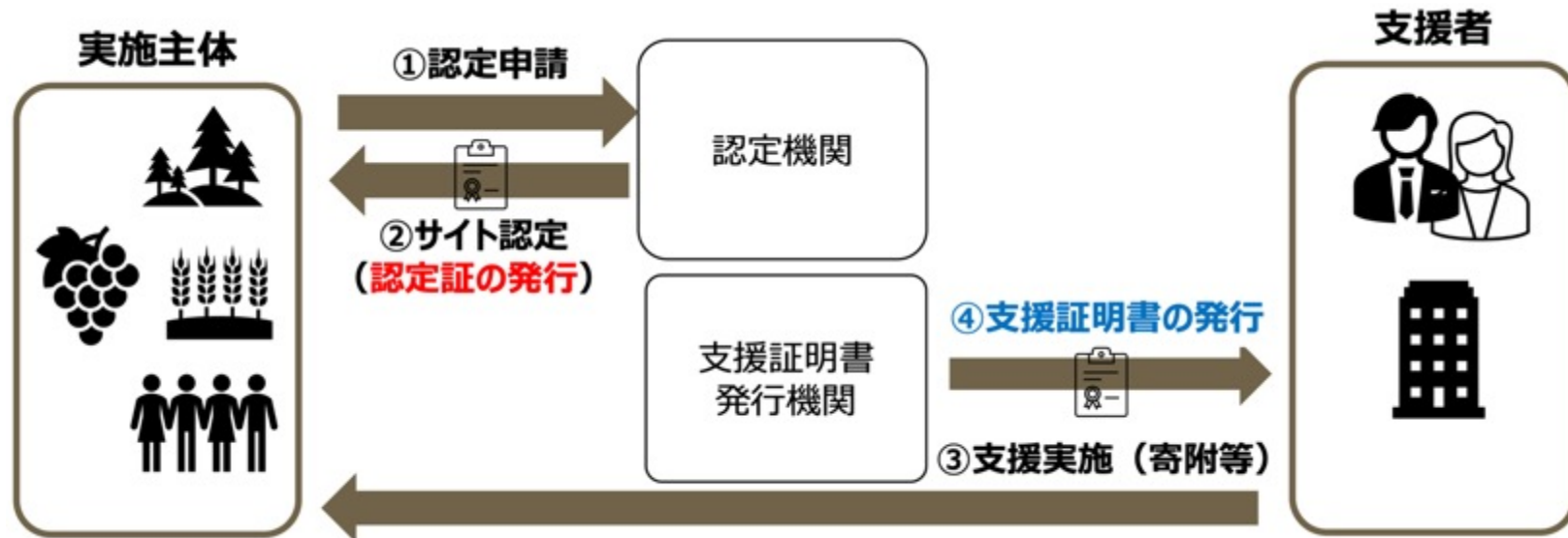
集合場所：亀岡駅

協力：大原野森林公園運営管理協会

⑤大原野森林公園の取組

●今後の展開：②自然共生サイトの活用

- 30by30目標が設定(2030年までに陸と海の30%以上を保全する世界目標)
 - 民間等の取組により生物多様性保全に貢献する区域を国が認定
(例：企業緑地、里地里山、水源の森、都市の緑地など)
 - 令和5年度前期で全国122件が認定
 - 経済的なインセンティブを国が検討中
- ①支援証明書制度（大企業等によるTNFDへの対応）



②専門家の派遣・人材バンクの整備・既存制度・事業の活用

謝辞

西京区役所洛西支所の皆様

西京土木みどり管理事務所の皆様

大原野森林公園運営管理協会 畑会長、森の案内人の方々をはじめとした皆様
ご協力いただき、ありがとうございました。

